空港グランド
ハンドリング協会

【実施主体：業界】

空港グランドハンドリング協会

主体名	実施月		項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
空ハン協	毎月	【短期】	グラハンの業界団体の設立と実効性のある運営	協会会員事業者の拡大	都市部・地方部両空港のグラハン事業者に対する協会設立説明会や、現地訪問による意見交換等を踏まえ、会員数の拡大を図っている。	2025年3月1日時点で会員数は117社（賛助会員含む）となり、全国61空港・34都道府県に空ハン協会員が存在
	適宜			各種研修会・地域会議の開催	協会会員事業者への受益に資する取り組みの一環として、業界共通課題の各種テーマに沿った研修会を開催。 また協会活動報告と会員事業者間の情報交換の場として、会員幹事会を定期的に開催。今年度より地方政策活動の一環とし、地域ごとの幹事会も開催（成田・関西・四国）	外国人雇用に関するセミナー（6月） 公正取引の実現に関するセミナー（7月） 航空局予算概算要求説明会（9月） 労務管理と労災に関するセミナー（11月） グラハン業務効率に関するセミナー（1月） R6補正予算事業に関する説明会（1月）
空ハン協	通年	【短期】	空港業務の社会的意義等に関する情報発信の強化	学校法人との連携によるグラハン業務授業の実施	賛助会員である峯徳学園、千葉敬愛学園と連携し、同校の授業に空ハン協会員が登壇し、グラハン業務の授業を実施。 他にも他校の見学会受入れを実施。	
	R6.10			空港のお仕事ツアーin CTSの開催	新千歳空港の事業者と北海道エアポート社との共催による、地元高校生と保護者を対象としたグラハン業務見学会と各社STAFFとの交流会を開催。	https://agha.jp/file/20241001_03.pdf?a
空ハン協	R6.7-12	【短期】	カスタマーハラスメント対策の推進（啓蒙活動の推進　等）	カスハラ実態調査の実施および公表	空港で発生しているカスハラの実態を把握すべく、調査を実施。 約14,700名の回答を得る。 調査内容をメディアなどへ公表するメディア説明会を12月に開催。	https://agha.jp/file/20241203_01.pdf
空ハン協	R.6.5	【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	処遇改善実施状況調査の実施	2024年度における処遇改善の実施状況および委託費の引上状況の調査を実施し、会員事業者の取り組み状況の把握を行った。	https://agha.jp/file/20240701_2.pdf?a
空ハン協	R7.2	【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定　等）	自民党航空議員連盟総会での課題公表	空港の受入れ環境整備に向け、外国航空会社の撤退リスクに対する補償制度の検討等、自治体を含む空港関係者の連携による安定的な外国航空会社の受託拡大に関する課題認識を公表。	
空ハン協	R6.6,8,11	【中期】	系列ごとに異なる資格や車両使用等の見直し・業界ルールの整備	業務効率化検討委員会の設置	委員会において、ANA/JAL協調施策やGSE共有化などの進捗状況について、共有を実施。	
空ハン協	通年	【中期】	空港見学会への協力を通じたグラハンや保安検査を目指す若者の裾野拡大	【短期】空港業務の社会的意義等に関する情報発信の強化と同様		
空ハン協	R7.1	【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備　等）	女性活躍推進アクションプランの作成に向けた実態調査	会員各社における女性比率の把握、会員各社における女性活躍推進やPRなどの好事例の把握、女性活躍を妨げる職場環境課題の把握を目的とした調査を実施。 抽出した課題を今後の政策活動に活用していく。	
空ハン協	R7.1	【長期】	労使間（産業レベル／企業レベル）の対話の推進	産業内労使懇談会の開催	2023年度に続き、2024年度においても、航空連合との産業内労使懇談会を開催。 魅力ある業界づくりに向けた、意見交換を実施。	

空ハン協	R.6.5	【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し（保安検査における長い拘束時間の見直し　等）	労務費の価格転嫁に関する実態調査	処遇改善実施状況調査において、労務費の価格転嫁に関する実態調査を実施。 内容を踏まえ、今後の適正取引推進に関する活動につなげる。	
空ハン協	R7.2	【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	自民党航空議員連盟総会での課題公表	空港の受入れ環境整備に向け、外国航空会社の撤退リスクに対する補償制度の検討等、自治体を含む空港関係者の連携による安定的な外国航空会社の受託拡大に関する課題認識を公表。	
空ハン協	通年	【長期】	特定技能制度の継続的なフォローアップ及び活用に向けた取組の推進	外国人材活躍推進活動の強化	2024年6月に研修開催開催し、理解促進に努めた。 11月に育成就労制度も含めたニーズ調査を実施し、制度拡充に向けた政策活動に活用。 2025年1月に、外国人材関連の政策機能の強化を目的とした外国人材雇用促進委員会を設置した。	
空ハン協	通年	【長期】	系列を超えた生産性の向上	空港業務DXに向けた各種活動への参画	空港業務DX推進官民連絡会や空港GH作業の生産性向上に関する技術検討会など、国が主催する会議への参画に加え、空港における生産性向上資機材開発メーカーとの意見交換などを実施し、実装に向けたヒントなどを得ている。	
空ハン協	通年	【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	各専門学校との意見交換	航空系専門学校との意見交換を実施し、採用イベントなどに参加している。一部の事業者のみの連携にならないよう、慎重に連携の糸口を検討している状況。	
空ハン協	R7.1	【長期】	空港業務に関する基礎的データの収集・整理（職員数、年齢構成、年代別年収、離職率等）	労働条件調査の実施	2024年12月～2025年1月に労働条件調査を実施し、実態把握に努めるとともに、過去の厚労省調査との比較を通じ、業界課題の把握に努めている。	